

教科(科目)	国語(論理国語)	単位数	3単位	年次	2年次
	必修	選択	総合選択	自由選択	
使用教科書	大修館書店『新編 論理国語』				
副教材等	大修館書店『新編 論理国語 学習ノート』、尚文出版『常用漢字ダブルクリア 五訂版』、 尚文出版『国語必携ライトパーフェクト演習 三訂版』、第一学習社『カラー版 新国語便覧』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の3系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確かな理解し、表現する資質・能力を育成する。

3 指導の重点

- ①漢字の読み書きや語句の意味調べ等を通して語彙を豊かにし、読解力及び表現力の向上を目指します。
- ②評論文を読んで、構成、展開、要旨などをとらえ、社会的な考え方を深め、自分の考え方を確立させることを目指します。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言語を通して他者や社会に関わろうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・考査、小テストの分析 ・ノート、プリントなどの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・考査、小テストの分析 ・ノート、プリントなどの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・ノート、プリントなどの内容の確認 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	領域	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	第1部 1 論理と出会	9 B「読むこと」	知の登山、知の水路	・「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取り、論理的に考える姿勢を身に付ける。	9	・授業への出席状況

	う					・話し合い ・発表
5	2 具体と抽象	9 B「読むこと」	突然変異と進化の関係 ウサギの耳はなぜ長い？	・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 ・具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。	9	・授業への取り組み方 ・発問への解答
6	3 対比をとらえる	9 B「読むこと」	米の種類と食文化 対話の精神	・具体と抽象の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 ・対話の役割を意識して本文を読む。	9	・提出物
7	3 対比をとらえる	6 B「読むこと」	デジタル地図から見える世界	・対比を意識して読み、論理の展開をとらえる。	6	
8	3 対比をとらえる	10 A「書くこと」	【フォーカス】対比を使って主張する	・効果的な対比の用い方について理解を深める。	10	
9	4 主張をつかむ	6 B「読むこと」	文化としての科学 要約の方法	・主張と根拠の関係を意識しながら、筆者の主張を読み取る。 ・文章のキーワードや、主張と根拠の関係を的確にとらえて要約する。	6	
10	4 主張をつかむ	9 B「読むこと」	人工の自然	・文章の構成や論理の展開に注意しながら要旨を把握する。	9	・授業への出席状況
11	5 論理的に書く	12 A「書くこと」	根拠をふまえて主張を書く	・根拠を明示して論理的に主張する。 ・適切な接続表現で論理的な文章を書く。	12	・話し合い ・発表 ・授業への取り組み方
12	6 統計資料を活用する	9 B「読むこと」	文章と資料を関連付けて読む 量の時代から質の時代へ	・文章と統計資料の関係について考えを深める。 ・資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。	9	・発問への解答 ・提出物
1	7 比べて読む	6 B「読むこと」	情報を比較・整理する 「言葉の揺れ」を認めるか 紙の本はなくなる	・情報を比較・整理する方法を深く考える。 ・異なる立場の文章を比べて、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。	6	
2 3	8 レポートを書く	20 A「書くこと」	テーマを決め、問いを立てよう 情報を収集、整理しよう レポートをまとめよう	・具体的なレポートのテーマを決め、問いを立てる。 ・適切な調査方法を選び、レポートに必要な情報を集め、整理・分類し、構成や記述に配慮し、わかりやすいレポートを書く。	20	

計105時間（50分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「書くこと」 42 時間	B「読むこと」 63 時間
-----------------	------------------	------------------

6 課題・提出物等

- ・タブレット端末を使用し、グーグルクラスルーム等指示された方法で課題を提出する。（適宜担当の指示に従うこと）
- ・長期休業中の課題も答え合わせをして提出することとする。

7 担当者からの一言

私たちは言葉を使って考え、理解し、伝えます。社会の一員として生きていくために必要な国語の力を一緒に養い身に付けていきましょう。